

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(3/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値に IIIを加味)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)		
			I 目標に向けた 取組の進捗に関 する評価	II 支援措置の 活用と地域独 自の取組の状 況	III 現地調 査時の指 摘事項及 び対応状 況等(*2)
京浜臨海部 ライフイノ ベーション国 際戦略総合 特区 (神奈川県 等)	正	A 4.6	B 4.4 進捗度 ・検体・情報基 盤に対する 設備投資額 42.3% ・医薬品・医療 機器の臨床 開始から上 市までの期 間短縮によ る経済効果 175.2% ・アジアセン ター化に伴う 研究開発外 注の増加 116.4% 等	A 4.5 規制の特例等 ・特定保健指 導に係る措 置 等 財政支援等 ・投資促進税 制支援 2件 等 地域独自の取組 ・神奈川県産 業集積支援 融資 等	+0.17 ・ <u>困難な課題にも意欲的に取り組み、一定の成果が上がっている。</u> また、 各種事業の連携も良好であり、今後の進展が期待できる。 ・ <u>目標を達成している事業(※1)と未達成の事業(データベース関連)(※2)の差が大きくなっている点が憂慮される。</u> また、寄与度を事業別に明示 するなど、数値指標化して細かく評価しようとする姿勢は評価できるが、設 定方法に疑問が残るものや、目標を高く設定しすぎていると思われる事業 もある。 ・現段階で十分な研究費を取得できていないなどの問題はあもの、成 果は大いに上がっている。 (※1) 医薬品・医療機器の臨床開始から上市までの期間短縮による経済 効果は、112億円の目標(平成25年度)に対し、196億円の実績(進捗度 175.2%)となっている。 (※2) 健診データを活用した検体バンク・検体情報ネットワークを整備する とともに、その運用により事業収入を上げる計画としているが、分析機器 等の整備実績は目標の約4割にとどまるとともに、データベースの構築が 遅れており、ネットワークの運用に至っていない。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。